

2018年7月2日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2018年7月2日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<http://www3.boj.or.jp/kitakyushu/gaikyo/subgai.htm>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、緩やかに拡大している。6月短観（全産業）をみると、企業の業況判断は、非製造業を中心に足もと幾分悪化したが、先行きは、製造業、非製造業ともに改善する見通し（前回+18→足もと+15→先行き+17）。企業収益は、増収傾向が続くなか、高水準を持続している（経常利益・前年比：17年度実績+24.4%→18年度計画▲0.2%）。

最終需要の動向をみると、公共投資は、弱含んでいる。輸出は、全体として高水準で推移している。設備投資は、堅調な収益動向を背景とした能力増強の動きなどがみられることから、製造業を中心に増加している。個人消費は、振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。住宅投資は、底堅く推移している。

こうした中で、生産は、全体として高水準で推移している。雇用情勢は、引き続き改善している。

【前回との比較】

項目	前回	今回
景気判断	緩やかに拡大している。	緩やかに拡大している。
需要項目	公共投資	弱含んでいる。
	輸出	全体として高水準で推移している。
	設備投資	堅調な収益動向を背景とした能力増強の動きなどがみられることから、製造業を中心に増加している。
	個人消費	振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。
	住宅投資	底堅く推移している。
生産	全体として高水準で推移している。	全体として高水準で推移している。
雇用	引き続き改善している。	引き続き改善している。

2. 需要項目別動向

公共投資は、弱含んでいる。

5月の公共工事請負金額をみると、市町村の発注分が増加したことを主因に、前年比プラスとなった。

輸出は、全体として高水準で推移している。

設備投資は、堅調な収益動向を背景とした能力増強の動きなどがみられることから、製造業を中心に増加している。

個人消費は、振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。

大型小売店（百貨店・スーパー・複合商業施設）売上高や量販店（ディスカウントストア・ホームセンター等）売上高は、化粧品は引き続き堅調に推移しているものの、夏物衣料品が伸び悩んだ。

乗用車販売は、横ばい圏内で推移している。

住宅投資は、底堅く推移している。

5月の新設住宅着工戸数は、貸家を中心に前年比プラスとなった。

3. 生産

生産は、全体として高水準で推移している。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	自動車向けを中心に、生産は高水準で推移している。
	電炉	建設向けを中心に、生産は高水準で推移している。
化学		アジア向けを中心に、生産は増加基調にある。
セメント		首都圏向けを中心に、生産は堅調に推移している。
住設機器		リフォーム向けを中心に、生産は高水準で推移している。
電気機械		海外向けを中心に、生産は増加している。
電子部品		自動車やスマートフォン関連を中心に、生産は高水準で推移している。
自動車		生産は高水準で推移している。

4. 雇用

雇用情勢は、引き続き改善している。

5月の有効求人倍率は、1.34倍（前年比+0.14ポイント）と、前年を上回った。

5. 物価

5月の消費者物価指数（北九州市の生鮮食品を除く総合ベース）は、前年比プラス（+0.9%）となった。

6. 企業倒産

5月の企業倒産（負債総額10百万円以上）をみると、件数は9件（前年同月6件）、負債総額は1,562百万円（同239百万円）となった。

7. 金融情勢

5月末の実質預金は、前年比3.4%増となった（前月同3.7%増）。貸出は、前年比4.3%増となった（前月同3.8%増）。

この間、貸出約定平均金利（都銀・地銀・地銀Ⅱ平均、総合<ストック・ベース>）は、1.195%となった（前月1.207%）。

以 上